



小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

令和5年3月15日
〒958-0268
村上市小川1-4
TEL:0254-52-2723
FAX:0254-52-4327

『成長』

校長 佐藤 進

令和4年度が、まもなく終わろうとしています。1年を振り返って感じるのは、やはり子どもたちの「成長」です。日々子どもを見ているとその変化は見つけにくいのですが、今年の4月の頃を思い出してみると、ご家庭でも「成長を感じる場面」が多いのではないのでしょうか。

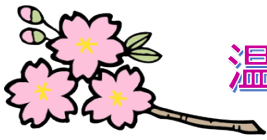
学校では、知育の成長として「家庭学習習慣の向上」が挙げられます。今年度3回強調週間を実施しましたが、学年×10分以上の達成率が1学期96.1%から3学期には99.1%と大きく向上しました。保護者の方からいただいた感想からも、「●時になったら△分勉強すると決めて家庭学習をしていた」と、子どもたちが頑張っている様子が伺えました。学習は、学校で終わりではなく、どんな仕事に就いても一生続くものです。自分から進んで学ぶ姿勢を、小学生の時から身に付けることは、これからの人生にどれだけプラスに働くか計り知れません。家庭学習を進んで行う姿勢は、今後も続けてほしいと願っています。

徳育での成長は、「思いやりの心」です。歩き遠足や小川フェスティバル、太鼓の引継ぎなど、様々な場面で異学年交流がありました。上級生が下級生に教えたり、優しくしたりする微笑ましい場面がたくさん見られました。活動の最後に渡す「ありがとうカード」には、支えてもらったり教えてもらったりしたことへの感謝の気持ちと、上級生への憧れが綴られていました。きっと自分がしてもらったことは、また下級生に「思いやり」という形で返していつてくれるのではないのでしょうか。

体育での成長は、「目標に向かって頑張る力」です。学習カードを用いて「めあて」を決め、毎回成長を実感する振り返りを行うことで、技術の向上が目に見える形となります。また、頑張っている自分を自覚することが新しい技の習得の意欲につながり、また頑張れるという好循環につながりました。

今、WBC（ワールドベースボールクラシック）が開かれ、連日白熱した試合が続いています。出場する選手の努力は、並大抵のものではないでしょう。目標に向かい、日々練習に励む姿が目には浮かびます。またそれだけではなく、ダルビッシュ選手のように、チームを一丸とするために後輩に教えたり、励ましたりする姿も報道されています。プロ野球選手のようにはいかないまでも、小川小の子どもたちは、今年1年目標に向かい、思いやりの心をもって、たくさんの努力をしてきました。その「成長」をぜひ、ご家庭でも地域でも認め、褒めていただければ幸いです。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、本年度も当校の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございました。また地域の皆様からの後援会費も、太鼓活動等に有効に活用させていただきました。紙面ではありますが、深く御礼申し上げます。1年間ありがとうございました。



温かい気持ちにあふれた「六送会」大成功！



今年も2月22日に「六年生を送る会」が実施されました。昨年はオンライン開催となりましたが、今年はほぼ通常通りのプログラムで実施できました。5年生を中心に各学年が心を込めて準備をしました。当日のプログラムは、「委員会引継ぎ式」「朝日三面川太鼓引継ぎ式」を含む盛りだくさんの内容でしたが、六年生に対する温かい感謝の気持ちとそれに対する六年生からのお礼の気持ちが伝わる素晴らしい会になりました。



1年生と入場 一緒にピース!



6年生クイズで盛り上がりました。



6年生にも大ウケ!



なかよし班(縦割り班)で手作りした感謝の色紙をプレゼントしました。



「委員会引継ぎ式」
伝統をしっかり引き継ぎます。



「ありがとう」を在校生が歌いました。



6年生の出しものと在校生へのメッセージに感動!



「朝日三面川太鼓引継ぎ式」初めに5・6年生で、その後4・5年生で演奏しました。



5年生は当日までに、たくさん話し合いや練習を重ねてきました。その頑張りやチームワークは見事でした。4月からはきっと素敵なリーダーになってくれることと期待しています。

「村上市岩船郡PTA協議会」から、前PTA会長 横井賢 様が表彰されました。

先日、PTA新旧役員会の際に、鈴木PTA会長から表彰していただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の時期にPTA活動の活性化に尽力された功績は大きいです。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

